

十三日金山小着其夜死去壽八十二歳少く逝去
以より吳創同年八月四日四十二歳少く逝去

征盛公要郎 莊内の城主大梵寺左京大夫氏晴ハトヲを
傳へ聞仙北を切取て先規の如く由利北七黨を幕下
とふ一旧臣百一常陸介を越後の國司長尾喜平治
為晴江と一加勢を預りれハ色部又四郎枋崎備前
守立百余騎飽海田川の軍勢と都合三千立百余騎
寛正三二月二十八日莊内を布立は由仙北丘聞へ事れど
軍評定あり歟れ横合より大山の城を攻袖北浦立出

馬大梵寺後諸波如を二千分と遞下りし前後あり
攻ん進同三月四日角館を布立より相伴より小笠原
左馬介日尾張幸堂伊勢六郷主馬中館安房小館
大膳田口白岩大澤黒川小山田戸沢陸路同次郎立倉
同彦八郎 口屋堀田栗阪原小白川児玉細田鈴木
堀田蒔隠州寺梅沢茂木佐々木入江永山村越傳
戸沢左京村松佐川進藤八柳前田西野を始其
勢三千余騎加勢小仁賀保布越路沢龍沢岩屋
根野井赤尾澤其勢七百立十騎龜田丘死集る
秋田より五百人小笠原より三百人何れも龜田丘集り